

就任2カ月ではじめての花香遊

柳井市観光協会 松重 伸子

二月一日から観光協会事務局局長を務めさせていただいている松重 伸子と申します。

出身は愛媛県松山市で、柳井に住んで一年ほどになります。この度、観光協会にご縁をいただき、(お鐘金魚に感謝です。)旅行代理店で働いていた経験を活かし柳井の観光を盛り上げるためのお役に立ちたいと思っております。

事務局長に就任して初めての主催のイベントが『花香遊』でした。花と香りで遊びましょうをテーマに様々なイベントが開催されました。

お陰様で天候にも恵まれ、皆様方・学生ボランティアさんのご協力もあり、大変盛況に終了しました。準備では、右も左もわからずご迷惑をおかけすることもございましたが、白壁の町並みの魅力も再発見できたと思います。

私自身、約20年ぶりに着物を着て本部にてご案内しておりましたが、実際に足

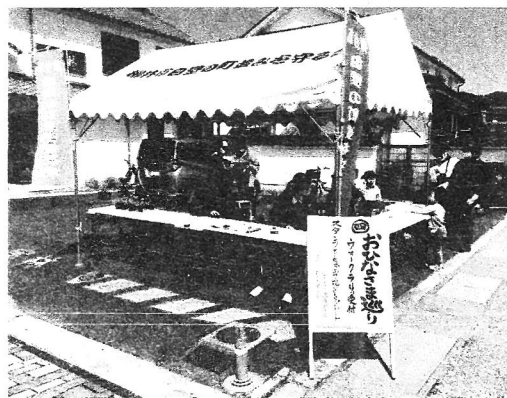
第九十四号

柳井市白壁の町並みを
守る会
事務局(皿田治)
Tel. 090-1012-4204

を運んでくださる方を対応しながら、マスク着用が個人の判断になったことによつて皆様方の表情も拝見することができ、少しずつコロナ禍前に戻ってきているのかなと感じ、たくさんの方々がイベントを楽しんでくださっている様子を見ることができました。

この度、就任2カ月での大役を受け、本当にぎりぎりまで不安に思っておりましたが、大きな事故やケガもなく反省点はいくつかありますが、その反省点を活かして第21回大会も盛り上げていければと思います。

最後になりますが、花香遊のイベントに関しまして、たくさんの方々に、ご協力・ご後援いただき本当にありがとうございました。事務局2人だけの力で



は今回のイベントは成り立っていないかと思ひます。ご協力いただいた地域の皆さま・花香遊部会の皆さま・ボランティアの皆さま、また花香遊の記事を掲載してくだ



さった皆さまに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。まだまだ、勉強が必要な点もございりますが、柳井の観光を盛り上げていくために微力ではございますが、精進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



花香遊学生ボランティアの皆さん

花香遊と十三参り

花香遊部会 河本 奈央

三月十九日(日)に柳井白壁の町並みにて第二十回花香遊が開催されました。主催者発表で約三五〇〇人の来場だったそうです。昨年よりコロナに関する規制が緩くなり、やまぐちフラワーランドからはシャトルバスが出るなど、コロナ禍前に近いぐらいの賑わいを見せました。特に花香遊の醍醐味である着物を着てのご来場が多かったのが喜ばしかったです。

今回は記念すべき二十回ということで、過去に十三参りをして今年二十歳になられる方もご招待し、十三参りと同じ法要に参加していただきました。参加してくださった三名の女性の皆さん、素敵なお姉さんになられていました。十三参りでは大切にしている漢字一文字を色紙に筆でしたためるのですが、湘江庵の方丈さんが七年前に書かれた色紙も一緒に並べてくださいました。今は十八歳で成人ですが、少し前までは成人といえれば二十歳。そして十三参りは干支が一周した年に行う、昔でいう成人の儀式です。今年も十三歳のお子さんと、二十歳のお姉さんが並ぶ特別な十三参りになりました。

また、今年初めての内容としては、柳井中学校の生徒が作られたカルタでのカルタ大会が開催されました。そのカルタの読み札は柳井にちなんだテキストになっており、遊びながら柳井のことが知れて愛着も湧くという素晴らしいものです。予選を二回したのちに決

勝が行われましたが、なんと優勝者はカルタ原作者の妹さんでした。姉妹愛も感じられたカルタ大会となりました。

コロナ禍では急遽開催が中止になったり、検温など対策を強化しての実施になったり、いろいろあった花香遊でしたが、再びたくさんの方が訪れ楽しんでいただけるお祭りになったことを嬉しく思います。二十回ということ

ことは花香遊も成人の年。これから柳井らしいお祭りの一つとして、地域と一緒に育っていくお祭りになっていけたらと願うばかりです。



白壁通りの 難波庵

河村 綾子

「庵」とは小さな家という意味がございませう。父と母が今から25年前、「難波さんの小さな家によろこそ！」という気持ちを入れて名付けました。それだけだととても可愛らしく、また店内は白壁のシックさとモダンの融合をイメージした造りでなんとも素敵なイメージなのですが、実はもう一つ隠された別の意味がございませう。それは難波庵…なんばあんなンバーワン…。お分かりでしょうか、ただ

の駄洒落です…。シーンという音が蔵の中に響き渡っております。

そんなハイセンス!?な両親が難波庵を私が子供の頃に始めました。初めは母がひとり切り盛りし、夜遅くまでの仕込みや、お店ではお客様とすぐに仲良くなり、賑やかだったのを子供心に覚えております。その後、母から父に代わりました。父は几帳面な性格から毎朝早くから庭の手入れをし、大好きな骨董を店に飾り、優しいお客様に囲まれて日々を過ごしております。

そんな父が体調を崩し、休業して8年目となった去年の春「竹友工房」の安原さんはじめたくさんのお声を頂き、この度、娘の私が受け継ぎ、再オープンする運びとなりました。私は残念ながら、父の一本筋の通った男気も、母の天性の陽気な人柄も持合せておりませんが、ご来店されたお客様が白壁通りを通る時ふつとご家族、ご友人との会話など良い記憶として思い出してくださるような穏やかな空間を作れるように日々精進してまいります。これまでのそしてこれからのたくさんのご縁を大切に感謝をしながら、私を育ててくださった柳井市の白壁通りに微力ながらも恩返し出来たらと考えております。



木曜日・金曜日・土曜日営業
白壁通り かけや小路 TEL0820-22-3791

令和4年度助成金事業報告

高杉 政章

令和4年度、公益財団法人山口きらめき財団から助成金をいただき、①「青森県弘前市との交流」と②「柳井中学校オリジナルかるたの商品化」という2つの事業を実施しました。

①については令和元年の創立40周年記念講演をきっかけにスタートした弘前市との関わりを、深め広めるため、②については、令和3年2月の柳井中学校生徒の作品展示への協力をきっかけに、その際展示した柳井の名所かるたに感謝を受け、これを商品化し、今後活用することを目的とするものです。

今回は、この2つの事業について、ご報告します。

①青森県弘前市との交流事業では、以下の二つの事業に取り組みました。

(1)柳井金魚ちようちん&弘前金魚ねぶたの装飾展示では、柳井の「金魚ちようちん」と、そのルーツである弘前市の「金魚ねぶた」を、紹介ポスターとともに町並み資料館や協力店舗等に展示してもらい、地域の方々や観光客に楽しんでいただきました。

【場所】町並み資料館、やない西蔵、しらかべ学遊館など公共施設をはじめ、協力店舗約30店
【期間】7月16日(土)～8月31日(水)

(2)弘前金魚ねぶたづくり体験
弘前市の金魚ねぶたづくり体験を行いました。弘前市の「津軽藩ねぶた村」のご協力のもと、現地とオンラインでつなぎ、金魚ねぶた職人さ

んの指導を受けながら、3歳から60代まで幅広い年代計72人(12人×6回)の方々が金魚ねぶたづくりを体験され、各自自宅に持ち帰っていただきました。

夏休み期間や金魚ちようちん祭りに合わせて実施したこともあり、多くの家族連れに参加していただき、参加された方々からは、「早速家に飾りました」「夏休みの思い出になりました」「弘前に行ってみたくまりました」など、たくさん喜びの声が寄せられました。

【場所】やないろ2階(ワークショップスペース)
【実施日】7月23日(土)、8月9日(火)、8月13日(土)(柳井金魚ちようちん祭り当日) 各日2回



ワークショップの様子



交流グッズのTシャツ

(3)交流グッズの制作・販売

この夏、柳井金魚ちようちん祭りのために柳井市観光協会が制作した「弘前ねぶた」の鏡絵などをモチーフとして、Tシャツやポロシャツを制作し、イベント時に販売したり、協力店舗に販売していただいたりしました(約160枚販売済)。また、弘前市からりんごやりんごジュースを直送していただき、柳井まつりや柳井しらかべ花香遊などで販売し、大好評でした。



商品化された柳井中学校オリジナルかるた



花香遊でのかるた大会の様子

②柳井中学校オリジナルかるたの商品化
前述の柳井オリジナルかるたを、原作者の協力をいただいて約1年かけてデジタル化し、制作を行いました。当かるたは柳井市の名所や特産品などを題材としており、柳井の魅力を知ってもらおうきっかけとなること間違いなしと確信しています。3月に開催された花香遊では、このオリジナルかるたを販売するとともに、かるた大会及びを行いました。かるた大会には約20人が参加され、予選4試合・決勝戦ともに白熱した戦いが繰り広げられました。優勝者と原作者には、当会から当かるたをプレゼントしています。

【大会場所】柳井しらかべ花香遊会場(かみゆい処1階)

【期間】令和5年3月19日(日)

令和4年度に引き続き、令和5年度も同助成金を活用し、弘前との交流やかるた大会の実施等を行っていきたくないと考えています。今後とも会員のみならず皆様のご協力をよろしく願っています。

柳井の地図絵図

岸田稔明

第三十七回 陸地測量部二万五千分一

地形図「柳井」「大島」(国土地理院蔵)

今回は、陸地測量部(国土交通省国土地理院の前身)が作成した二万五千分一地形図「柳井」「大島」を取り上げる。

陸地測量部では、明治四十一年(一九〇八年)から、都市部を対象に二万五千分一地形図の整備を開始した。柳井地域では、昭和二一年(一九二七)年測図、昭和五一年(一九三〇)年に初めて発行された。実際には、明治二十九年(一九〇六)年に発行された二万分一地形図(第二十五回、第二十六回にて紹介)を縮小し、経年変化修正したものである。

まず、鉄道に注目すると、駅名は「やないつ」となっており、柳井港駅はまだない。そして、柳井駅の東西で鉄道の描画が異なっている。これは、柳井駅から西側が複線化されたためである。



次に、学校に注目すると、市街地の北西に『商業学校』の表記がある。県立柳井商業高等

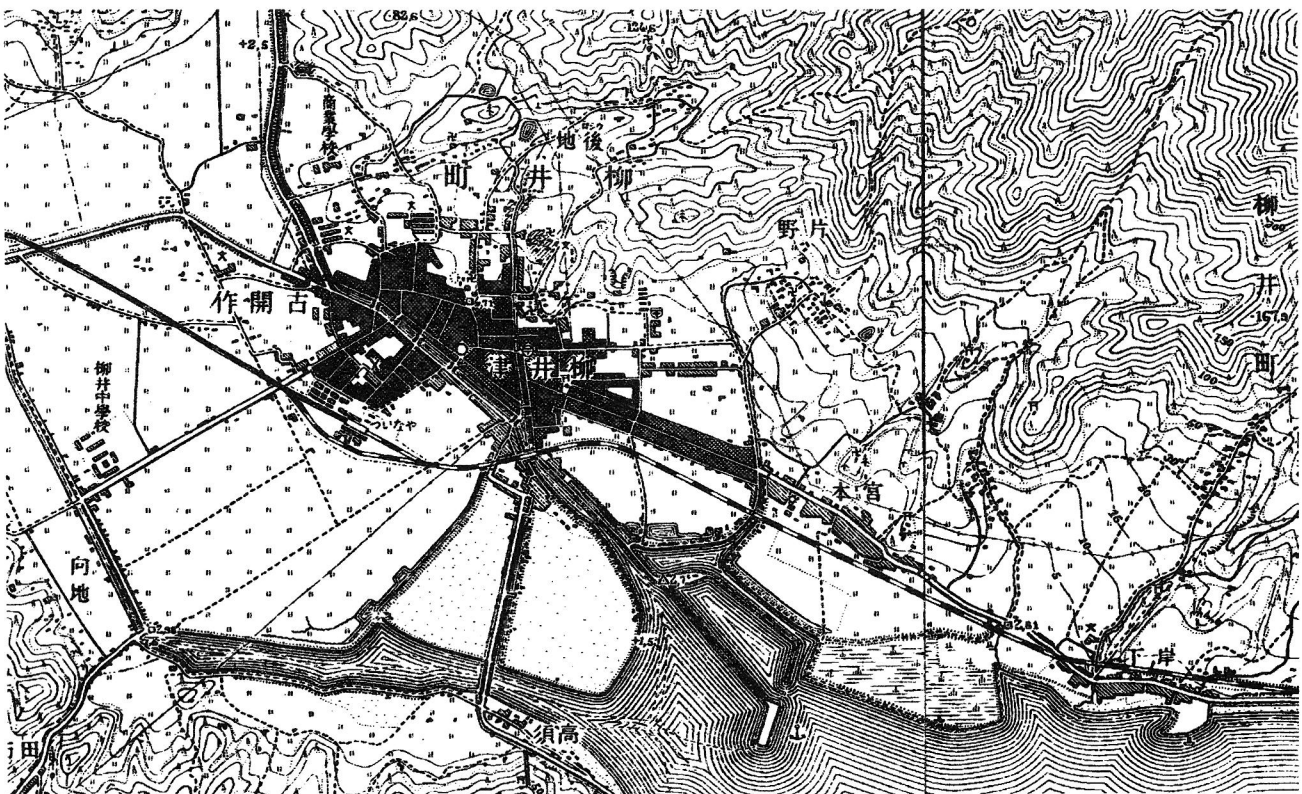
学校(現柳井商工高等学校)の前身である。大正九(一九二〇)年創立の柳井町立柳井商業学校は、当初柳井尋常小学校(後の柳井小学校)の校舎を間借りしていたが、昭和二(一九二七)年に校舎を新築し移転した。

また、市街地南西の向地に『柳井中学校』の表記がある。これは県立柳井高等学校の前身で、大正十(一九二一)年に県立周東中学校として設立され、当初は柳井尋常小学校(後の柳井小学校)の校舎を間借りしていたが、大正十一(一九二二)年に校舎を新築し移転した。大正十二(一九二三)年に校名が柳井中学校へ変更された。

市街地の西、「古開作」の「作」の字の上に、「文」のマークがある。これは、大正八(一九一九)年に創立された周東実用中学校で、大正十二(一九二三)年に私立周東中学校と改称された。後の柳井学園高等学校である。

地図記号に注目すると、市街地周辺のほとんどは田となっている。柳井浜(南浜)は塩田となっており、当時塩を生産していたことがわかる。一方、宮本塩浜は湿地帯となっている。これは、宮本塩浜が明治三十三(一九〇〇)年の台風で堤防が決壊し、そのまま復旧せずに製塩を終了したためである。

【陸地測量部二万五千分一地形図「柳井」「大島」(国土地理院蔵)】



商都柳井の歴史 その廿四

松島 幸夫

柳井津商家の心(三)

火難除けの祈り

江戸時代の商人たちは商売繁盛や病気快癒など、様々な願いを込めて神仏に祈りを捧げました。結果が悪かった時には、神仏への信心が浅かったからと自分の心を攻めました。数ある祈りの中で、火災除けは切実な願いでした。火災に見舞われれば、長年積み上げてきた苦労が全て水泡に帰すのです。

もちろん江戸時代に火災保険はありません。現在では火事になると消防車がやって来てすぐに消火してくれます。しかし江戸時代の昔、冬の西風が強い日に火事が起こるものなら、次々に飛び火して100軒を超える程の大きな被害になったのです。



多くの人が一夜にして焼け出されました。火の始末を完全にしました。併せて神仏に防火の祈りを捧げまし

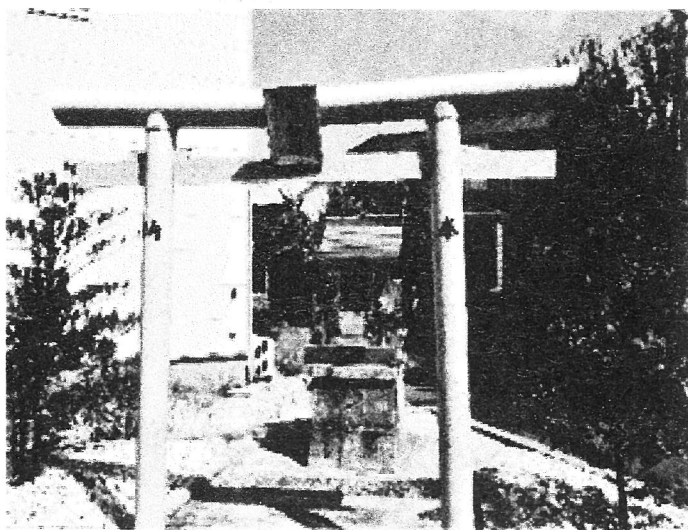
た。火伏せの御利益がある秋葉神社や愛宕神社に祈りを捧げたのです。しかし東海や京都の本宮は遠方ですから、そう易々とお参りするわけにもいきません。近所に神霊を勧請して毎日のように祈りたいと考えました。

柳井市体育館の南東30mの所に秋葉神社が勧請されています。「秋葉さま」と親しみを込めて呼ばれます。その場所は柳井津町の北西端にあたります。冬季に北西からの強風に煽られて、柳井津町は幾度も悲惨な大火に見舞われました。秋葉神社を柳井津の町並みの北西端に鎮座させた意図がよく分かります。なお柳井津の商人たちは「秋葉講」を結成しており、時に代表者が現在の静岡県浜松市の秋葉神社本宮に代参して火災除けの御札を持ち帰り、講人に配っていました。

ところで久保町の誓光寺の境内には「消ゆるともよし正風の美濃の雪」との俳諧を刻んだ句碑が建てられています。偕楽庵理圭坊が静岡浜松の秋葉神社本宮に参詣しての帰路に詠んだ句です。偕楽庵理圭坊とは、大野屋の主人であった清水儀兵衛のペンネームです。柳井津町の俳諧グループである正風美濃派柳井分社の宗匠(長)でしたので、仰々しいペンネームをつけていたのです。秋葉本宮社で火難除けの祈願を行い柳井津へ戻る途中、美濃で体調を壊して倒れ、戸板に乗せられ運ばれました。運ばれた先は、なんと正風美濃派本部の大宗匠宅でした。柳井の宗匠が美濃の大宗匠宅で息を引き取ります。「大宗匠宅ならば、自分の命は雪のように消えてもよい」

との心を表現した辞世の句です。俳人が心充たされて臨終です。併せて「柳井津町のために秋葉本宮社への参詣を済まし、商人仲間への責任を果たせた」との安堵感も入り混じっていたと思われる。

秋葉神と同じく防火御利益のある京都の愛宕大神も勧請されています。愛宕大権現(神仏合体)として、火伏地蔵の姿で設置されています。柳井津における火伏地蔵は、宝来橋の北詰・亀岡町・姫田川東岸・姫田川西岸・普慶寺の境内・瑞相寺前に建てられています。それらの火伏地蔵の数の多さから、江戸時代の柳井津の人々にとって、火災除けが何にもまして大きな心配事であったかが分かります。



柳井津町北西端の秋葉さま

資料館便り

『ありがとう・感謝』

副会長 山近 絹代

「三月も来ますからよろしく」と北海道からのお客様を連れてこられたバスガイドさんと言った帰られたが、新型コロナウィルスの影響で、バスツアーがすべてキャンセルとなり、再びお会いする事はなかったあの日から三年が過ぎた。

当館は例年おひな様シーズンは連日のように団体さんの入館があったが、コロナが落ちてきた今年もまだコロナ前の三分の一くらい。早くコロナ前の状況に戻ってほしいものです。

お鐘金魚さんは相変わらず好評でこんなこともありました。二月のある日「金運アップの神社ありますか？」と入館されてきた方がいらっしやいました。「お鐘金魚さん」が神社に？

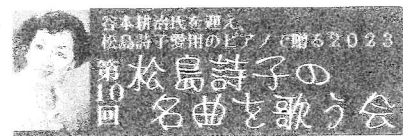
聞けば、柳井在住のお客様だけでなく、お鐘金魚さんの金運アップ効能を広島のお友達に聞いてのご来館。お鐘金魚さんのことが広く知られてきたのかな？

最近の「お礼参りノート」から少しご紹介。宝くじが当たりました。夏に訪問した後、最近入籍しました。(おめでとーございませう) お金に恵まれて幸運になった。感謝です。

希望の大学に合格しました。希望の就職が決まりました。商売も順調、家族も健康。感謝。などなど

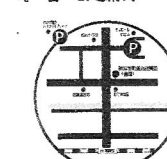
「この春、息子が柳井の高校を卒業します。コロナではじまりコロナで終わってしまいました。毎日が当り前でないことを学びました。人との繋がりに感謝しています。遠く離れた柳井で息子を支えてくださった皆さんとのご縁に感謝です。感謝を力に代えて息子も次の道に進めます。」とのこと。息子さんを思うお母さまの愛情と、息子さんが三年過ごした柳井に感謝を思う気持ちにこちらの方こそ感謝です。

四年ぶりに「松島詩子の名曲を歌う会」が四月二十八日(金) 13時30分より当町並み資料館にて開催されます。歌手谷本耕治さんの歌と楽しいトークでお楽しみください。



【日時】 2023年4月28日(金) 開演 13時30分
【場所】 柳井市町並み資料館 1Fロビー (2F松島詩子記念館)

- ・谷本耕治による松島詩子の名曲コーナー
- ・一緒に歌おうコーナー
- ・谷本耕治オンステージ
【曲目】「マロニエの木陰」(昭和12年) 「喫茶店の片隅で」(昭和30年)



ピアノ 角田啓子
司会 山近絹代
主催：柳井市市民の町並み委員会
協賛：柳井市観光委員会
問い合わせ先：0820-23-2137 (柳井市観光課(月・水休))



日時.. 4月28日(金) 13時30分
場所.. 柳井市町並み資料館
柳井市柳井津442
入場無料

【編集後記】

★★これまでプロ野球にまったく興味がなかったのだが今回のWBCは全試合テレビのライブ中継を見て応援。結果は侍ジャパンがアメリカを3対2で下し3大会ぶり3回目のWBC制覇。監督を始め全選手素晴らしい活躍だった。是非ともあっぱれをあげたい。
★おひな様巡りの雛壇の設営に今年も、と云うかますます大苦戦の我がシルバー軍団。なにせ昨日何を食べたか、今朝薬を飲んだかどうかははっきりとした記憶がないくらいだから致し方ないのだが・・・そろそろ若い会員に選手交代していかなければ先が思いやられる。花香遊でのスタンプラリーの際には中高生のボランティアが大勢来てくれて大いに助かったのだが雛壇の設営時にこそ手伝ってほしかったな～。(事務局 皿田)

令和4年度第4四半期 柳井市町並み資料館入館者数

	令和4年1月～3月	令和4年3月現在累計
町並み資料館	3,384	307,491
	前年同期比 149%	
松島詩子記念館	679	111,106
	前年同期比 109%	